

別紙様式1

令和6年度広南中学校区研究推進計画

校番(2)(呉市立広南小)学校

校長名 山田 幸治

1 学校教育目標

未来を創る
 ～誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力を育てる教育の創造～

2 目指す児童生徒像

- 夢を持ち、夢を語り、志を抱き、その実現に向けて挑戦する児童生徒
- 時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
- 自ら課題を見付け、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

3 育成を目指す資質・能力(具体の姿)

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	知識・技能	情報収集・判断 思考・表現	協力・協働 感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究
後期	課題解決に必要な知識や技能を習得し、活用することができる。	学習してきた情報を構造化したり抽象化したりすることで、解決策を生み出すことができる。 自分の考えを、状況に応じて適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。	他の人と協力し、それぞれの意見を分析しながら、より良いものを導き出すことができる。 感謝の心を持って、自分なりに社会へ貢献しようとすることができる。 自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。 疑問やできないことを大切にし、自ら課題を進んで見だし、探究的に粘り強く学び続けることができる。
中期	課題解決に必要な知識・技能を習得し、活用することができる。	学習したことを多面的・多角的に見ることで、根拠を明確にして解決策を考えることができる。 自分の考えを、目的や相手によって、効果的に表現したり、伝え合ったりすることができる。	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力をさらに発展させることができる。 感謝の心を持って、自分なりに地域へ貢献しようとすることができる。 自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。 疑問やできないことを大切にし、自分たちで問いを立てて、粘り強く解決していこうとすることができる。
前期	課題解決に向けて必要な知識・技能を習得し、活用することができる。	学習したことの中から、比較したり分類したりしながら、解決策を選び出すことができる。 自分の考えを分かりやすく表現したり、伝え合ったりすることができる。	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。 感謝の心を持って、自分なりに家族や地域へ貢献しようとするすることができる。 自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。 課題解決に向けて、興味をもって、自分から粘り強く取り組むことができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

Society5.0を生きる資質・能力の育成

～主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

平成31年度から「Society5.0を生きる資質・能力の育成」を目指し、その力をつける上で、研究主題を「Society5.0を生きる資質・能力の育成をめざして～主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して～」として、道徳科を切り口に、考え、議論する道徳科の授業づくりに取り組んでいく。

ア 研究実践の調査結果

道徳科の授業に係る児童生徒の意識調査の結果から、「④道徳科の授業で友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりしている」という意識が高くなってきている。

また、「①道徳科の勉強が好きだ」という項目について、中学校では増加、小学校では少し減少した。

教職員の意識調査の結果から、「④道徳科の授業では、学習指導要領の趣旨を踏まえた、多様な指導方法の工夫を取り入れている」は意識が高くなってきており、「⑥道徳科の授業では、児童生徒が友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりするような指導の工夫をしている」の肯定的回答も100%であった。

「授業で勉強したことを、自分の生活にいかす」項目において児童生徒、教職員ともに肯定的な意識が低い。

質問項目	小年生 (%)		中学生 (%)	
	5月	12月	5月	12月
① 道徳科の勉強は好きだ	91	86	83	88
② 道徳科の勉強はためになると思う	95	96	98	98
③ 道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている	87	92	89	100
④ 道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりしている	84	92	98	96
⑤ 道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている	82	83	82	88

児童生徒の意識調査（R5年度）

質問項目	小学校 (%)		中学校 (%)	
	5月	12月	5月	12月
③ 自校の道徳科の授業は充実している。	89	88	88	100
④ 道徳科の授業では、学習指導要領の趣旨を踏まえた、多様な指導方法の工夫を取り入れている。	89	100	88	89
⑤ 道徳科の授業では、児童生徒が自分のことを振り返りながら考えるような指導の工夫をしている。	100	100	88	100
⑥ 道徳科の授業では、児童生徒が友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりするような指導の工夫をしている。	78	100	88	100
⑦ 児童生徒が道徳科の授業で勉強したことを自分の生活にいかしている。	44	75	88	89

教職員の意識調査（R5年度）

イ 考察

児童生徒の意識調査の結果（④）から、考えたくなるような発問の工夫を行ったり、授業で対話を積極的に取り入れたりとすることで、友達との話し合いを通して、物事を多面的・多角的に考えることができるようになってきていると考える。今年度は、「めざす議論する姿」を基に9年間を見通しながら議論のレベルアップを目指していく。

また、結果（①）では小学校では少し減少した。ただし、気になる児童に聞いてみたところ、その中には、「好きだけど、考えるほど難しくなってきた」という声があり、道徳科の学習にしっかりと向き合い真剣に考えている姿が見られたため、成果の1つと考えられる。

教職員の意識調査の結果（④）（⑥）から、特に研究授業、協議会において、道徳科の授業づくりについての共通認識を図り、実践することができたことが成果であると考えられる。

しかし、児童生徒の意識調査（⑤）、教職員の意識調査（⑦）から、「授業で勉強したことを、自分の生活にいかす」項目においては、児童生徒、教職員ともに、肯定的な意識が低い。そこで、今年度は、道徳科を要とした他教科等との関連によるカリキュラムマネジメントを意識した取組を充実させ、事前や事後の活動と道徳科で学んだことを結びつけ、自分の生活と関連付け、自己の成長を感じ、自己の生き方を考えられるようにしていきたいと考える。

ウ 今年度の取組

引き続き、「主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくり」に取り組んでいく。「主体的に考え」の主体的とは、「自分だったらどうするだろう、これまでの自分はどうだっただろうか、自分の生活に生かしていこう」と、自分事として考えられることである。また、道徳科を要とした他教科等との関連によるカリキュラムマネジメントを意識した取組を充実させ、事前や事後の活動と道徳科で学んだことを結びつけ、自分の生活と関連付けていきながら、さらに研究を推進する。

(3) 研究仮説

自分事として主体的に考える道徳科の授業を充実させることにより、本学園の目指す児童生徒像、「何事にも挑戦し、自律し、課題解決に向けて真摯に努力し続ける」児童生徒を育成することにつながるであろう。

5 研究内容

(1) 主体的に考えるための工夫

- ・課題提示（導入の工夫）
事前アンケートの活用、実際に起こりそうな場面の提示、生徒の感想の活用等
- ・教材提示の工夫
具体物の利用、TTでの役割読み、板書の工夫（黒板シアター）等により、児童生徒が教材に入り込み、自分との関わりで考えられるようにする

(2) 考え、議論するための工夫

- ・発問の精選
中心発問を吟味…児童生徒にとって新しい学びは何か、考えたいような発問になっているか
補助発問の準備…さらに道徳的価値を深められるようにする
- ・自分の考えをもたせる
ICT、ネームプレートの活用等
- ・議論する場の設定
コの字型の机配置、考えをペア、グループ、全体へ広げる、顔を見て話したり、認め合いながら聞いたりする指導
- ・めざす議論する姿
低学年：自分の考えとその理由を話すこと
中学年：友達の考えと比較しながら考えを話し合うこと
高学年：友達の考えと比較し、自分の考えを見つめ直しながら話し合うこと
中学生：自分の考えを見つめ直したり、他者の考えを自分の考えに生かしたりしながら、話し合うことを目指し、9年間を見通しながら議論のレベルアップを目指す。

めざす「考え、議論する姿」(発達段階ごと)

	小1～2	小3～4	小5～6	中7～9
考え議論する姿	自分の考えをもち、理由をつけて伝え合う	自分の考えをもち、友達との考えと比較しながら、自分の考えを伝え合う	自分の考えをもち、交流(対話・議論)することを通して、友達と自分の考えを比較し、自分の考えを見つめ直しながら伝え合う	自分の考えをもち、交流(対話・議論)することを通して、友達と自分の考えを比較し、自分の考えを見つめ直し、他者の考えを自分の考えにいかしたりしながら伝え合う
具体的な発言、 具体的な発問	基本 わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。	わたしは〇〇だと思います。理由は△△だからです。
	賛成 (同じだな) 〇〇さんと同じです。	(同じだな) 〇〇さんと同じです。理由は△△だからです。	(同じだな) 〇〇さんと同じです。理由は△△だからです。	(同じだな) 〇〇さんと同じです。理由は△△だからです。
	反対 (ちがうな) 〇〇さんとちがいます。	(ちがうな) 〇〇さんとちがって、△△だと思います。理由は△△だからです。	(ちがうな) 〇〇さんとちがって、△△だと思います。理由は△△だからです。	(ちがうな) 〇〇さんとちがって、△△だと思います。理由は△△だからです。
	付けだし (似ているな) 〇〇さんと似ています。	(似ているな) 〇〇さんにつけて、△△だと思います。	(似ているな) 〇〇さんにつけて、△△だと思います。	(似ているな) 〇〇さんにつけて、△△だと思います。
	質問 (どうして) 〇〇さんどうして△△思うのですか。 (よく分からない) 〇〇さんもう一度言ってください。	(どうして) 〇〇さんに質問です。どうして△△思うのですか。私は△△と思うのですが。	(どうして) 〇〇さんに質問です。どうして△△思うのですか。私は△△と思うのですが。 (他の人は) 〇〇さんは、どう思っているのか教えてください。	(どうして) 〇〇さんに質問です。どうして△△思うのですか。私は△△と思うのですが。 (他の人は) 〇〇さんは、どう思っているのか教えてください。
	見つめる		(なるほど) わたしは△△でしたが、〇〇さんの意見を聞いて、△△と思いました。	(なるほど) わたしは△△でしたが、〇〇さんの意見を聞いて、△△と思いました。
深める			(こういうことかな) 〇〇さんや〇〇さんの意見から、△△という考えになりました。 (新たな考え) だったら、こういう考えはどうですか。	
授業者の関わり方 議論させるための発問	授業者が主導で考えを広げたり深めたりする ・なぜそう思うのですか。 ・〇〇さんの意見を聞いてどう思いますか。 ・〇〇さんや〇〇さんの意見で、同じ(ちがう)ところは、どこでしょう。 ・どの意見に賛成ですか。	授業者の問い返し等によって考えを広げたり深めたりする ・なぜそう思うのですか。 ・もし、こうだったらどう思いますか。 ・〇〇さんの意見を聞いてどう思いますか。 ・〇〇さんや〇〇さんの意見で、同じ(ちがう)ところは、どこでしょう。 ・どの意見に賛成(反対)ですか。 ・みんなの意見からより良い。	児童・生徒の言葉(考え、反応、質問)によって考えを広げたり深めたりする ・なぜそう思うのですか。 ・もし、こうだったらどう思いますか。 ・〇〇さんや〇〇さんの意見を聞いてどう思いますか。 ・〇〇さんや〇〇さんの意見で、同じ(ちがう)ところは、どこでしょう。 ・どの意見について、話し合ってみてください。 ・どの意見に賛成(反対)ですか。 ・みんなの意見から考えたことや分かったことは何ですか。	
発言量	授業者の発言		子どもの発言	

広南中学校区「考え、議論する姿」発達段階表

(3) 自己を振り返るための工夫

- ・振り返りの視点の活用
学習内容とこれまでの自分の生き方を比較して考える, 友達の考えを聞いて自分はどうか考えたか振り返る
- ・道徳科の学びと生活（道徳的実践）の結び付け
心に響く教師の説話, スライドショー等

(4) 学びをいかす工夫

道徳科を要とした他教科等との関連によるカリキュラムマネジメントを意識した取組

<関わりのある活動>

〔相手を大切にする礼節の校風づくり〕

- 生徒会活動 ○生活ループリック ○5つの合言葉・3つの約束
- いじめ撲滅プロジェクト

〔先輩後輩・地域との絆づくり〕

- 絆PROJECT（異年齢交流） ○学園朝会
- 広南芸術鑑賞会 ○広南学園運動会 ○広南劇場・広南寄席 ○せとうち海援隊活動
- 地域行事への参画 ・小坪神楽・祭り・広子ども祭り・ふれあいサロン・敬老会

〔健康・運動・生活づくり〕

- 部活動 ○食育の充実 ○読書活動

〔活躍・挑戦の場づくり〕

- 授業での活躍の場 ・予習課題・復習課題の活用（家庭学習の活用）・ミニ発表会
・班発表 ・ミニ先生 ・教え合い
- 校外への挑戦の場 ・トリプル3（漢検・数検・英検）・各種学力調査
・二刀流（漢検・くれチャレンジマッチスタジアム）
・科学研究, 発明工夫 ・各種応募作品
・部活動の大会
・総合文化行事, 英語暗唱大会, 話し方大会, 合唱コン

6 検証について

(授業)

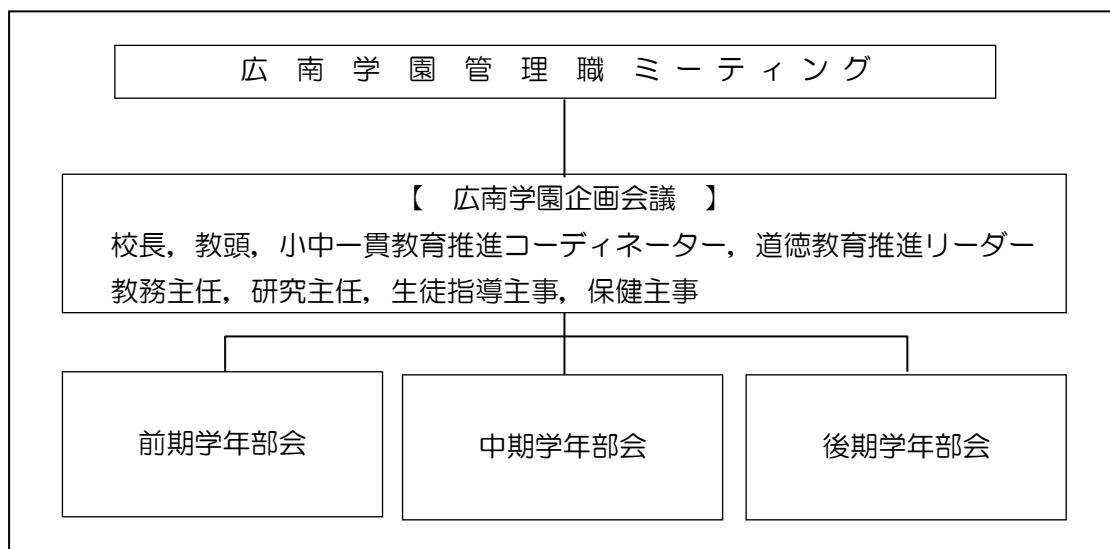
検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 道徳の授業では, 自分のことを振り返りながら考えている。	児童, 生徒の意識調査	児童生徒の肯定的評価	小 92 中 100	95
② 道徳の授業で友達と話合うなどして, 考えを深めたり, 広げたりしている	〃	〃	小 92 中 96	95
③ 道徳の授業で勉強したことを, 自分の生活にいかしている。	〃	〃	小 83 中 88	90

(生活)

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
④ 自分にはよいところがあると思う。	児童, 生徒の意識調査	児童生徒の肯定的評価	小82 中84	90
⑤ 将来の夢や目標を持っている。	〃	〃	小94 中79	90
⑥ 今住んでいる地域が好きだ。	〃	〃	小98 中93	95

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小，小→中）

（中→小）

国語科	…第5学年	年間20時間程度
算数科	…第5学年	年間20時間程度
社会科	…第6学年	年間20時間程度
理科	…第6学年	年間20時間程度
音楽科	…第5，6学年	年間20時間程度
外国語科	…第5学年	年間20時間程度
クラブ	…第4～6学年	年間20時間程度

（小→中）

道徳科	…第7学年	年間35時間程度
道徳科	…第8学年	年間35時間程度
道徳科	…第9学年	年間35時間程度

イ 小学校教科担任制等

第4～6学年	理科
第2～6学年	音楽
第5～6学年	家庭
第1～6学年	道徳（TT）

8 推進計画

月 日	内 容
4月 1日	広南学園企画会議 事前打合せ（今年度の取組）
2日	広南学園研修会（本年度の取組・組織・計画について）
30日	広南学園企画会議（5月の予定等）
5月15日	広南学園運動会予行
18日	第13回広南学園運動会
29日	広南学園企画会議（6月の予定等）
6月 7日	広南学園研修会 研究授業 中学校（第7学年）①
6月27日	広南学園研修会 研究授業 小学校（第5?学年）②
6月26日	広南学園企画会議（7月の予定等）
7月25日	広南学園企画会議（8月の予定等）
8月 1日	広南学園研修会（研究会に向けての指導案検討）
22日	広南学園企画会議（9月の予定等）
26日	広南学園研修会（研究会に向けて模擬授業）
9月18日	広南学園研修会 研究授業 小学校（第?学年）③
9月24日	広南学園企画会議（10月の予定等）
10月21日	広南学園研修会（研究会に向けて）
10月21日	広南学園企画会議（11月の予定等）
30日	広南学園公開研究会研修会
11月19日	広南学園研修会 研究授業 中学校（第8学年）④
11月25日	広南学園企画会議（12月の予定等）
1月6日	広南学園企画会議（1月の予定，まとめに向けて等）
2月 4日	広南学園研修会（本年度のまとめ，資料持ち寄り）
2月 4日	広南学園企画会議（本年度のまとめ）
3月13日	広南学園研修会（来年度に向けて，各部会の報告）
3月13日	広南学園企画会議（来年度に向けて）

9 その他

• 令和6年度 広南学園 学園朝会 計画

月 日	内 容
4月16日	職員紹介 児童委員会・生徒会執行部紹介 礼節, 集団訓練 広南学園運動会 結団式
5月 8日	運動会に向けて全体練習(中学校グラウンド) 気をつけの姿勢と深い礼 運動会のテーマとスローガン
6月11日	第1回いじめ撲滅キャンペーンの取組について
10月 8日	いじめ撲滅標語の表彰式
11月 5日	五色百人一首集会(古典の日の取組として) 「古典に親しもう」
12月 3日	広南学園遊び 縦割り遊び
2月14日	9年生を送る会

- 小中一貫教育だより(年1回発行予定)